



石川教育長（写真右）と吉原敬八大和中学校校長（写真左）が本大会への出場を決めた加藤翔大さん（写真中央）を激励しました。

**大和中 加藤翔大さん  
ジャイアンツカップ出場**

7月7日・14日の両日、栃木県で全日本中学野球選手権大会（ジャイアンツカップ）・東日本ブロック予選会が行われ、大和中学校3年生の加藤翔大さんが所属する、土浦霞ヶ浦ボーイズが、ブロック優勝をして本大会へ出場を決めました。

8月10日からの本大会では、全国から選ばれた32チームが、中学硬式野球の日本一の座をかけて競い合います。幼稚園年長の頃から野球を始め、今予選会でピッチャーやレフトとして活躍した加藤さんは、「日本一を目標に、一戦必勝で頑張っていきたいです」と本大会への意気込みを話していました。

**猛暑の中で熱戦  
樺穂ブルーージェイズ学童野球大会**

7月7日・13日・14日、真壁運動場をメイン会場に「第11回樺穂ブルーージェイズ学童野球大会」が開催されました。

本大会は、本市の樺穂ブルーージェイズ主催で、野球スポーツ少年団の友好と親睦、競技力のレベルアップを図ることを目的に毎年1回開催されているもので、同チームと交流のある市内や近隣地域から31チームが参加。厳しい練習を重ねてきた子どもたちは、梅雨明け直後の猛暑にも負けず、元気がいっぱいプレーしました。結果、筑西市の下館ホワイトイーグルスが熱戦を勝ち抜き、見事初優勝を果たしました。



開会式で入場行進を行う樺穂ブルーージェイズの選手たち

**桜川Jr. バドミントンクラブ  
県大会で上位入賞**

6月1日、笠松運動公園で「関東プロテックススポーツ少年団競技別交流大会県代表者選考大会」が開催され、桜川Jr. バドミントンクラブが上位入賞を果たしました。

阿部歩人さん（水戸市5年）が男子シングルス第3位。青木伽奈さん（坂戸小5年）が女子シングルス第3位。久野陽翔さん・稲川開陸さんペア（共に坂戸小5年）が男子ダブルス第3位。景山紫帆さん（羽黒小6年）・萩原菜結さん（羽黒小5年）ペアが女子ダブルス準優勝。この結果を受けて、景山さん・萩原さんペアは、関東大会へ茨城県代表として選抜され、活躍が期待されます。



県代表者選考大会で上位入賞した、石から景山さん、萩原さん、青木さん、稲川さん、久野さん、阿部さん

**ひなの里保育園**

**親子で楽しむ「夕涼み会」**

7月13日、学校法人わかば学園ひなの里保育園（真壁町田地区）で、「夕涼み会」が行われました。

これは、同保育園が、夏の雰囲気を感じ、親子で楽しむことをテーマに毎年開催しているもので、当日は、入園児童や一時保育児童、無料で開催している子育て支援教室参加児童と保護者約250人が参加しました。

児童たちは、アニメ「ちびまるこちゃん」のキャラクターのお面を頭につけ、ちびまるこ音頭を踊ったり、「わっしょい！」と元気なかけ声とともにお神輿を担いだりして、来場者を楽しませました。



元気にお神輿を担ぐ児童たち

**大和中で、「金子みすゞの詩」朗読「コンサート」**

7月1日、大和中学校体育館を会場に、小口ゆいさん・紗亜さん親子による朗読コンサート「みすゞが見た夢」が開催され、童謡詩人「金子みすゞ」の詩が、ことばとピアノで表現されました。

このコンサートは、心の豊かさやたくましさを育むことを目的に青少年育成桜川市民会議大和支部（島田勝典支部長）が開催。大和中学校全校生徒190人と保護者など78人が参加しました。

生徒代表のお礼の言葉では、3年生の添野彩貴さんが、「詩が独特の視点で描かれていて、みんなの心が一つにまとまったように感じました」と話していました。



小口ゆいさん（写真中央）と一緒に詩を声に出して読む体験をした生徒の皆さん

**岩瀬高校と協和特別支援学校で  
交流会を実施**

7月3日、岩瀬高等学校・衛生看護科3年生34人と協和特別支援学校高等部生徒21人が、交流会を行いました。

これは、両校の交流および共同学習として2年前から毎年実施しています。今回は、両校で勉強している高齢者が楽しめるレクリエーションをお互いに発表し合いました。また、岩瀬高校生が手伝って協和特別支援学校生に妊婦体験してもらいました。交流会を終えた岩瀬高校生たちは、「レクリエーションの良い点や改善点が分かりました」「お互いに楽しめた交流会になりました」などと感想を話していました。



高齢者が楽しめるレクリエーションを発表する岩瀬高校生の皆さん

**真壁石の小便小僧  
おしっこ飛距離日本新記録達成**

6月28日、市営高上町駐車を会場に、真壁石製の小便小僧を使った、おしっこ飛距離の日本記録珍チャレンジが行われました。

これは、日本テレビの「ビックリしちゃった新記録」で放送されたもので、同テレビ局が、市内「有」坂口石材工芸（坂口登社長）に声を掛けて実現しました。

同石材店で作製された小便小僧は、身長90cm、体重300kgで、強力な水圧に負けな

いたくましい像に出来上がりしました。これまでの記録は、3.9m。今回のチャレンジでは、これを大きく超える29.3mを記録し、新記録を達成しました。



記録にチャレンジする小便小僧と観客の皆さん

**筑西広域消防本部救急救助訓練  
救急隊・救助隊出場**

6月20日、筑西広域市町村圏事務組合消防本部で、191人の消防職員が参加した、管理者観閲および救急救助ドクターヘリコプター合同訓練が行われました。

この訓練は、複雑多様化する災害に対処し、筑西広域圏内の救助体制と救急体制の連携向上を図ることを目的として実施されたものです。筑西レスキュー隊による訓練では、ビル倒壊を想定したロープブリッジ救出、障害突破、引揚救助訓練をするなど、隊員同士声を掛け合いながら日ごろの訓練の成果を披露しました。



ビル倒壊を想定した墜落外傷でショック状態の傷病者を救急処置する隊員たち